

よ・ち・か

移住応援ガイドブック

ああ、ここが
ふるさとだったらなあ

おぢや移住のススメ

お手に取っていただきありがとうございます。おぢや市は新潟県の真ん中、中越地方に位置しています。はっきりとした四季のある米どころで、冬にはたくさんの雪が降ります。食べ物が美味しくて、豊かな風土を持ち、田舎の良さとちょっと都市の便利さもある、そんな“程よい田舎さ”がおぢやの“居心地の良さ”だと思っています。このガイドブックは移住への第一歩を踏み出すことを応援します。少しでも興味を持ったなら、ぜひ一度おぢやに遊びに来てください！



CONTENTS

おぢやを知る	04
おぢやを堪能しよう！ツアー	06
おぢや Q&A	08
おぢや暮らし	10
おぢやのあたり前	12
お役立ち情報	14
雪国暮らし	15



おぢやを知る

GET TO KNOW OJIYA.

山が終わり、平野が開けるところ、おぢや

市街地の平野部を中山間地が囲み、さらにその向こうには越後三山をはじめとする遠くの山並みが見渡せます。それらの山々から米を育む水の流れが始まり、平野に届いたところがおぢやです。地図を見るとよく分かりますが、複雑に蛇行しながら日本一の川・信濃川が流れています。古くから陸路と水路が交わる要所としての歴史があります。

おぢやの四季

ここでは季節の変化が暮らしの中心にあります。知っていたはずの“四季”なのに、次々新しい発見がある“おぢやの四季”。



春

4月の終わり頃まで雪が残る小千谷の春の訪れは遅めです。それでも5月になれば山菜が出回り、田植えが始まります。花々が咲き始め、季節が一気に動きます。



夏

山本山は一面のみわり畑になり、初夏から7月中旬頃まであちこちで蛭が見られます。夏の終わりから秋にかけて、各地で祭りが盛り上がります。



秋

米どころが一番慌ただしくなる季節。新米に新そば、豊かな土地に生きる贅沢を感じます。そして来るべき冬の支度をします。



冬

例年11月下旬には初雪が降ります。降り積もる雪が音を吸収し、自然の音が静かになると、時間までゆっくり流れているようです。

田んぼの四季

魚沼産コシヒカリの産地であるおぢやは田んぼの風景が四季を映し出します。



春

空と田んぼ
水を張った田んぼは鏡のように青空を映します。



夏

青い香り
ぐんぐん育つ青い稲。田んぼにはカエルや虫達も賑やかに集まります。



秋

黄金のじゅうたん
まぶしく輝く稲穂たち。頭を垂れてきたら収穫はもうすぐです。



冬

雪の下
一年の仕事を終え、眠りにつきます。真っ白な毛布をかけられ春を待ちます。



かたかい 片貝

越後三大花火の一つであり、世界一の四尺玉で有名な片貝まつりで知られる市北部地域。花火だけでなく、片貝木綿や木遣りなど、独自の伝統産業や伝統文化を持つ地域でもあります。

ひがしおぢや 東小千谷

JR小千谷駅を中心とした、信濃川東岸の地域。駅前の商店街や2つの酒蔵があり、戊辰戦争の古戦場もあります。



にしおぢや 西小千谷

信濃川西岸の地域。本町商店街や大型スーパーなど経済の中心地であり、かつては小千谷縮の交易で栄えました。白山運動公園や船岡山など市民の憩いの場も多数あります。



よしだに 吉谷

美しい棚田が残る山あいの地域。竜神伝説の残る郡殿の池には無数の浮島があり、貴重な動植物が多数生息しています。



まっと 真人

市の南西部に位置する地域。真人沢川を境に比較的平坦地の多い里地地区と、山間部に集落が点在する北部地区とに二分され、古民家を改装した農家民宿や真人むじなの伝説など昔ながらの文化を大切にしている地域です。



おぢや 特色別 MAP



東京からのアクセス
新幹線：約2時間
自動車：約2時間半

ひがしやま 東山

かつては隣村の旧山古志村とともに二十村郷と呼ばれ、牛の角突きや錦鯉といった独特の文化を持つ市北東部の地域。錦鯉産業が地域の生業となっています。



やまべ 山辺

山本山から見える越後三山や信濃川の蛇行は絶景！山本山にある「おぢや〜」では、キャンプなどの宿泊ができるほか、JR東日本の水力発電を学ぶことができます。



かわい 川井

市南東部に位置し、比較的平坦な平野部と豪雪地帯である山間部を併せ持った地域です。国重要文化財である妙高寺の愛染明王坐像は美しい彩色といきいきとした表情で信仰を集めています。



まずは気軽に おぢやを堪能しよう！ツアー

田んぼのある景色から歴史散策まで おぢやを知る日帰りモデルコース

市街地と中山間地でがらっと変わる雰囲気を持つおぢや。その両方を体感しながら、ぜひ小千谷人の温かさにも触れてください。



越後岩沢駅

田舎を感じる飯山線の無人駅。ここで大きく深呼吸。きれいな空気がおいしいです。田んぼが広がるのどかな集落を散策してみよう。



えちごいわさわ
越後岩沢
ECHIGO-IWASAWA
げじょう うちがまき
GEJO UCHIGAMAKI

屋食・農家レストラン 「より処 山紫」

岩沢のお米と野菜の定食をたっぷり味わえます。



ぜひ
話しかけてみて

清野さん

東京出身の先輩移住者。地元の食材を使った菓子製造「ボレボレ工房」を起業されています。山紫の店頭にいることもあります！



雪峠・池ヶ原

季節によって景色が変わる雪峠の「今」はぜひあなたの目で見届けて。移住後はこの景色があなたの日常になる…。(→p.9新谷さんおすすめの場所)



昔の雁木通り。雁木とは今のアーケードのこと。今も変わらずおぢやの中心地です。

小千谷商店街

小千谷駅から始まる長い商店街。一説によると日本一長いアーケード商店街とも言われています。江戸・幕末の雰囲気を随所に残すエリアも。

まずはおぢやを知ってほしい。できれば一度遊びにきてほしい。そうしてぜひ実際におぢやに住んでる人に話しかけてほしい。移住って、大変な決断。まずはおぢやがあなたの心に引っかかるかどうか来てみてください。きっとあなたの心が動く、おぢやが伝わるツアーをご提案します。

居食亭 東忠

国登録有形文化財でもある割烹料亭で一服。喫茶だけの利用もおすすめ、入り組んだ館内に歴史を感じます。



さつまいも農カフェきらら

関越道小千谷インターそばにある、さつまいもをメインにしたカフェ。おぢやの農業を感じられるお土産も多数！

ぜひ
話しかけてみて

新谷さん

さつまいもマニアとしてテレビ出演もする新谷さん、地元農業を盛り上げようと色々仕掛けています。



一泊するなら 「古民家民宿おっこの木」で農家の夜を。

おぢやの中でも山奥と言われる若栃集落にある古民家を改修した宿。ホタルや美しい星空に虫の声、若栃の夜は宝の山です。冬の豪雪も一見の価値があります。

ぜひ
話しかけてみて

若栃のお母さんたち

ゼンマイの煮しめなど地元で採れた山菜や季節の野菜をふんだんに使った「田舎ごっつお」を振る舞ってくれます。地元ならではのお話が色々聞けるはず！



翌朝は土遊びや雪遊びを！「収穫体験」や「里山トレッキング」など季節ならではの農作業や田舎遊びをぜひ体験してみてください！



採れたての
野菜は
絶品ですよ

要事前
連絡

お問い合わせは「おっこの木」(0258-86-7998)まで季節に合わせた地域体験を提案してくれます。ぜひお気軽にご連絡ください！

車or電車orバス？ 交通アクセスについて

おぢやでの生活必需品と言える車、おぢやの旅もできたら車で来てもらうのがおすすめですが、実は電車やバスもアクセスいいんです。

- 車 東京(練馬IC)から関越道で小千谷ICまで約2時間30分
- 電車 東京駅から小千谷駅まで上越新幹線利用で約2時間
- 高速バス 池袋駅から小千谷ICまで約4時間

ここでご紹介するおぢやの魅力はほんの一部。牛の角突き、世界一の花火、季節のグルメに日本酒、自然と歴史のおぢやでぜひあなただけのお気に入りスポットを見つけてください。

小千谷
観光協会



小千谷に行ったら
実際にやってみたい100のこと
(Youtube)



移住者にきいてみた おぢや Q&A

おぢやに暮らす4名の先輩移住者に移住に関するあれこれを聞いてみました



たるいとしお
樽井俊郎さん

福島市出身、日本・海外各地に住んだのち、2015年に東小千谷に移住。『さちのさと鍼灸治療院』を開業。



さかもとかなこ
坂本香奈子さん

新潟市出身。田舎で食に関する仕事をするため、2013年に地域おこし協力隊として岩沢に移住。



さかもとしんじ
坂本慎治さん

千葉県南房総市出身。地域おこしに関わりたいたいと思ひ、2013年、地域おこし協力隊として真人に移住。



あらいりえこ
新谷梨恵子さん

東京都江戸川区出身。結婚と就農のため2000年に真人に移住。農プロデューサー・リッツ代表として、『さつまいも農カフェきらら』を開業。

お二人は結婚され、現在夫婦で「とうふ工房 豆ノ助」を切り盛りされながら、二人のお子さんの子育て中です。

Q なぜ小千谷に移住を決めたのですか？

A 樽井さん 最初のきっかけは（2004年の）中越地震のあとにボランティアでお手伝いさせていただいたことです。その後都心や海外を転々としていたんですが、「どこかで地に足を着けて生活する人になろう」と思った時、小千谷の方とのご縁もあり、小千谷に移住を決めました。また、小千谷は「空間」がちょうどいいと感じていました。山々に囲まれながらも、土地を貫く川の流れがあって、開いた空間がある。初めて来た時から深く印象に残っていました。

坂本(慎)さん 移住が目的ではありませんでした。もともと地域おこしに興味があって、農業ビジネスができそうな場所を探していました。地域おこし協力隊の仕事がちょうどいいタイミングであり、ここに決めました。

Q 来る前に心配だったこと、来て困ったことは？

A 樽井さん 心配はなかったです。どこに行っても人はいる。今までもそんな「人」に助けられてきました。未知の土地に足を踏み入れる恐怖はあるものかもしれませんが、小千谷に関しては絶対にそこにいる「人」たちが助けてくれることを実感しています。

坂本(慎)さん 心配だったのは給料が少なくなることですね。ただ、来てから外食がほぼ無くなりました。飲み会も人の家が多いので、お金がかからなくなりました。あとは、買い物の仕方など都会のライフスタイルから田舎のライフスタイルに切り替えるのに半年かかりました。

坂本(香)さん 山が好きで、山と農業のある田舎で食に関する仕事をしたいと思っていました。首都圏で働いてましたが、出身である新潟県内で移住先の土地を探していく中で、条件がぴったりだったのが小千谷でした。

新谷さん 大学生の時に遊びに来て、「なんていいところなんだろう!」と思いました。お付き合いしていた人が小千谷の人だったのですが、春の雪解けの時期に来て、田んぼの景色、山菜採り、とにかく楽しくて小千谷に一目惚れしたんです。ちょうど大学4年で就農活動をしていた時期だったのですが、結婚してここで一生かけて農業することを決めました。

坂本(香)さん 私は特になかったです。人間関係は土地柄が違えば自分の当たり前と違うところがあります。小さなトラブルは多々ありましたが、大きく困ったようなことはなかったです。

新谷さん 生活に関しては異国に嫁ぐ覚悟をしていたので、大変だと思ったことはないんです。人間関係も、もともと大家族での田舎暮らしをしたかったので、細かいぶつかりがあってもお互いさまと思っています。ただ、移住して1年くらいは同年代の友達がなくてしんどかった…。今はたくさんいます!

Q 小千谷のいいところは？

A 樽井さん 人と人の距離が自然なところですかね。迫りすぎず離れすぎず受け入れてくれる。小千谷ではどこに行ってもそうだから助かるし安心です。初めて住民登録で小千谷市役所に行った時も、都会のよそよそしい役所を経験してきただけに距離感が自然で面白いと感じました。

坂本(慎)さん めしです。野菜、米、小千谷の野菜はどこで食べたものよりおいしい。ここにいる価値だと思います。それから河岸段丘と呼ばれる小千谷の地形から見る空が好きです。グラデーションが繊細で、冬の夕焼けなんかさういい。秋頃の空のブルーもすごくきれいです。

Q 小千谷にあったらいいな、と思うものは？

A 樽井さん 「映画館ないんだ!」と思いました。結果的に隣の長岡市に行けばあるので不便はしていませんが、例えば名画座のように、新作でなくても映画を上映する場所があると街にとっていいなと思います。

坂本(慎)さん おしゃれな図書館。隣の十日町市や新潟市の図書館と比べてしまうと使い勝手や見せ方が物足りないです。また、小千谷はおいしい日本酒をたくさん作っているので、それらを楽しめる「日本酒bar」みたいなものがあたら行きたいです。

Q 移住して、「この人がいて助かった!」という方はいますか？

A 樽井さん 治療院の場所を貸して頂いているTiara (パン屋)さんです。移住した直後に入ったお店で「出張専門の往診をしようとしている」と話したことから、仕事が一気に広がっていきました。治療院の場所から、お客さん、治療代の相談まで、地元の人に合った仕事をする上で大きな力になりました。

坂本(慎)さん 大家さんご夫妻にはお世話になりました。ご飯をよく作っていただきました。豪華なお膳が玄関に置いてあったり!それを「俺がやりたいからやってるだけなんだ」とおせっかいでないところが気持ちよく、お互いに気を使わなくていい関係がありがたかったです。町内会長も「お前のやりたいようにやれば」と言ってくださる方で、居やすかったです。

坂本(香)さん 昔ながらの田舎のコミュニティ、人の距離感が好きです。人のあったかさが肌に合っています。子どもも、近所のおばあちゃん始め皆にかわいがってもらえています。小千谷の春が好きです。新緑の淡い森がきれいで山菜もおいしい。採りに行くのも楽しくて、最近はウドを採るのにはまっています。

新谷さん 肌で感じられる四季ですね。旬のものをその場で食べられることとか、東京にはないすごいこと。私の好きな場所に雪峠というところがあって、行く度いつも景色が違って、今でも感動します。「あ〜、だからやめられないんだな〜」と思っています。

坂本(香)さん 書籍や美術など、新しい情報や(自分の中に今までなかった)新しい刺激を受けられる場所がもっと欲しいです。子どもを生んで、自分の持っていない世界に会える場所が必要だなと思うようになりました。

新谷さん 私は「もの」ではなく、小千谷の良さをトータルプロデュースする「人」がもっと必要だと思っています。小千谷にはまだ日の当たってないすごい人がたくさんいる。そんな人がもっと輝いていけるようにしたいです。

坂本(香)さん 大家さんの親戚のおじちゃんたちです。身の回りの生活を親身になって世話してくれました。町内活動に関しても道具や家の修理、畑の世話等何でも相談にのってくれました。最初の年は畑(家庭菜園)を全部作ってくださったりして…。いつの間にか野菜の種を植えておいてくれたり(笑)。

新谷さん 私が何かをはじめようという時に、縁の下の力持ちになって活動を広げてくれた、行政・市役所・農業改良普及員の方々等たくさんいらっしゃいます。それから、よそ者に対して「受け入れてあげよう」という気持ちで接してくれた真人(地区)の皆さんです。

日常の中の、小さな幸せ教えます！ おぢや暮らし

暮らし方は人それぞれ！
ここでは暮らしの一例を紹介します。
あなたの参考になりますように！

市街地で家族と暮らす



”子育てに関する
余計な心配がいらぬ
ところが嬉しいです。”

家 小千谷市街地
3LDK 新築
土地面積 / 180㎡
土地代 / 580万円
建築費約 /
1200万円

仕事 夫 / 精密機械工業
妻 / 食品加工製造業

生活費の特徴 電気・ガス・水道代 /
ガスは都市ガスで
都会と比べても
さほど差はありません。
灯油代 / 冬は暖房代が
結構かかります。
ガソリン代 /
買い物や送迎等、
日々の移動は車中心です。

小千谷は
精密機械産業が盛んです。



休日は家族と出かけてリフレッシュするのが幸せ！



ある日の土曜日は子供と一緒に『農カフェ
きらら』でデコパージュのワークショップ
に参加。



バターナッツかぼちゃと言う
見た目も可愛い野菜にデコ
レーションをしました。食
べるのがもったいない！



ある日の日曜日は、『けやきパー
ク』で買った地場野菜を使って
作ったお弁当を持って『クライン
ガルテン』でピクニック。市内を
見下ろす山本山には芝生の広場
があるんです。知り合いの家族
も来ていることが多く、子供を
見守りながら自分たちもリフレ
ッシュできるのは幸せだなと思
います。それに、ここから見る
信濃川の眺めは本当に絶景です。
おぢやは息を飲むほどの自然に
囲まれているんです。

市街地で一人で暮らす

”おぢやで
新しい生活を始める！”



家 小千谷市街地
1K(32㎡) 賃貸アパート
築8年 家賃 / 月4万円

仕事 花火製造業

生活費の特徴 車代 / 車を買ったので
月々ローンの返済があります。
うちのアパートの
駐車場代はタダです。
畑代 / クラインガルテンで
農地を借りて
野菜を育てています。
農機具貸し出しや
指導もしてくれるので、
ゼロから始められます。



いきつけの飲み屋さんで 和気あいあいと話すのが幸せ！

仕事終わりは商店街にある、いきつけの飲み屋さん「いこい」でご飯を食べるのが
楽しみです。店主さんを通じて、地元の方々と仲良くなりました。小千谷市街地
には数え切れないほど飲み屋さんがあってびっぴりしています。

中山間地で家族と暮らす

”ちゃんど収入を
確保した上で
田舎暮らしをする。
次は畑に何を植えようか
楽しみです。”



家 中山間地
5DK 築35年
土地面積 / 363㎡
土地代+建物代 /
300万円

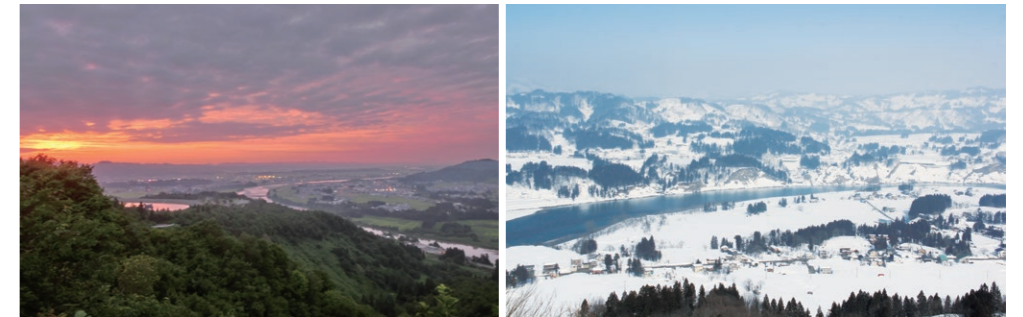
仕事 夫 / 介護職員
妻 / パート

生活費の特徴 ガス代 /
LPガスなので、
都市ガスと比べると
やや割高です。
水道代 / 井戸水を
利用している家なので、
ほとんどかかりません。
食費 / 野菜等の
おすそ分けも多く、
家での食事が
多くなったので、
都会と比べると安いです。



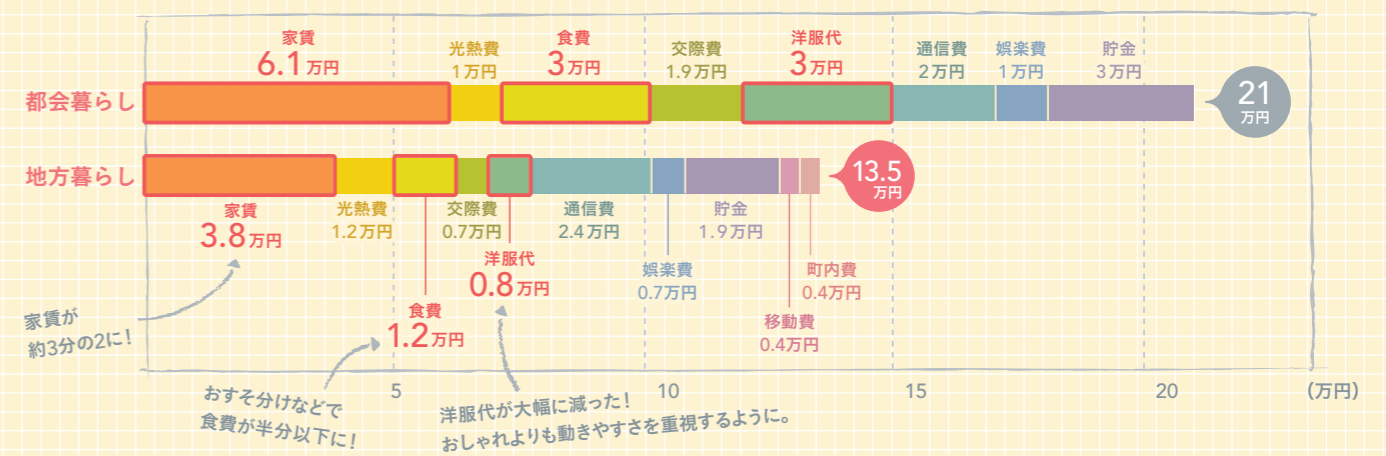
景色を見ながら ぼーっとできる幸せ！

中山間地での暮らしは、毎日ドライブを
しているみたい。移ろう景色が飛び込
んできます。カーブを曲がるごとに里山
の森林の間に現れる棚田の風景。日々
成長していく稲を見守る通勤もいいも
んです。この景色を見ると、ふとし
た時に幸せな気持ちになります。



都会暮らしvs地方暮らし ひと月の支出金額くらべ

※移住女子による移住情報誌 chuchu, 2013 秋号より ※あくまで仮想金額です



- 移住して変わった、お金のあれこれ
- 1 外食や、ショッピングに使うお金が減った。
 - 2 おすそ分けなど、お金を介さないやり取りが多くなった！
 - 3 雪国では、地域の維持費としての町内費が意外とかかる。
 - 4 マイカー関連の出費が多くなる。

知っておこう! おぢやの当たり前



春、晴れた日は 家族総出で山菜採り!

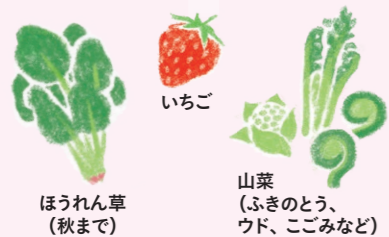
雪の解けた里山に分け入れば、あちこちに山菜が! 鮮度が命の山菜を採ったその日にいただく、これぞ田舎暮らしの贅沢です。晴れの日、今だと言わんばかりにみんなが山菜を採っている姿が印象的です。山に行けば色々な人に会えるかもしれません。

※里山は所有者がいるものなので勝手に取らないこと。「山菜食べたいです!」の一言できっと皆さん手取り足取り教えてくれるはずです!



おすそ分けがご近所つき合いのきっかけに! おぢや旬の農産品

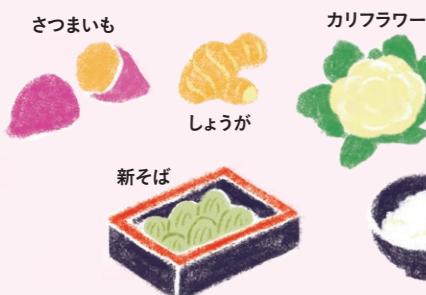
SPRING



SUMMER



AUTUMN



WINTER



畑を始めてみよう!

自分たちで作った野菜を自分たちで食べる。中山間地では多くの家で家庭菜園をやっています。近所の方に教えてもらいながら田舎暮らしを満喫しましょう。美味しい野菜がたくさんできたら、ご近所さんにおすそ分けしてみてもいいかもしれません。ちょっとしたことがコミュニケーションになります。また、冬に備える保存食としての漬物や寒干しも旬の楽しみです。食がすぐ近くにある、地に足のついた生活があります。



買い物は近場、アクティビティはちょっと車を走らせて!

大手スーパーマーケット、ホームセンター、家電量販店、ドラッグストアなど多数! 野菜直売所もあります。



スーパー『原信』は新潟全域に展開する大型スーパーで、食品なら大抵の物が揃います。駐車場も広いため車でのお買い物が便利です。



直売所『けやきパーク』で地産野菜を購入。朝採れの新鮮な野菜がたくさん並びます!

小千谷市民がよく利用する、近隣都市の施設について。



中山間地の通学はスクールバスで!

市街地とはちょっと違う、中山間地の通学事情。

不便さが気になる中山間地の交通事情... マイカーがあると便利ですが、公共交通も意外に充実!

南小学校

全校児童101人、多くの子供がスクールバスで通っています。中学校と併設されているため、9年間を見通した学習支援が行われています。

東山小学校

全校児童21人、大半がスクールバスで通っています。地域と連携し、地元の伝統文化である闘牛を飼育するなど特色ある取組を行っています。(2019年現在)

マイカー	真人北部若栃集落	20 MIN	小千谷総合病院
	東山小学校	15 MIN	イオン小千谷店
	岩沢住民センター	20 MIN	小千谷市役所
路線バス	真人中央	30 MIN	小千谷駅
	岩間木(東山)	20 MIN	小千谷本町西
	岩沢駅前	20 MIN	小千谷本町中央
電車	越後岩沢駅	20 MIN	小千谷駅

COLUMN

幅広い職種から選べる おぢやのお仕事事情

おぢやの基幹産業は鉄工・機械・食品などの製造業。ものづくりの優れた高い技術力を持つ企業や安全で品質の高い食品を製造する企業が多く立地し、製造業の就業者数の割合が高いです。また、県内人口第2位の長岡市も通勤圏内のため、幅広い職種から自分に合った仕事を探せます。

おすすめ求職情報サイト

- 1 『新潟県U・Iターンコンシェルジュ』
- 2 『新潟WORK NAVI』
- 3 『若者しごと館』

こちらのサイトでは、求人情報だけでなくさまざまなサポートサービスが提供されています。ぜひチェックしてみてください!



これで安心！お役立ち情報

子育て・医療情報

保育園

保育園は10園、認定こども園3園が市内各地域にあります。年度途中入園にも対応していて、ずっと待機児童ゼロ！



一時預かり わんパーク（子育て支援センター）もよく利用します。広いスペースや遊具があり、子どもと一緒に遊んだり、一時預かりをしてもらえます。

給食

園内で作った温かい給食を出してくれるところが嬉しいです。お米はもちろん魚沼産コシヒカリ！



医療

市内には総合病院もあり、いざと言う時に安心です。また専門の個人病院も多く、特殊な高度医療を除いて基本的に市内で大丈夫！

1 内科（小児科）、整形外科、眼科、歯科などの個人病院がたくさんあります。

Q 小千谷 医療機関 検索

2 2017年に新しく建設・開院した小千谷総合病院。地域の中核医療機関として、市民の利便性と安心感の向上が実現しました。



移住支援情報

おぢやの暮らしに関する情報を集めたポータルサイト「おぢやにスムスム。」には、生活に関するデータや関連サイトへのリンク等役立つ情報がまとめられています。



空き家バンク

小千谷市内の空き家の有効活用を図るため、空き家情報を広く提供しています。市内の物件情報を探せます。

Q 小千谷 空き家バンク 検索

クラインガルテン／二地域居住

田舎暮らしをしてみたいけど、いきなり移住するのは不安…。そんな方のために、普段は今のお住まいで暮らし、時間のある時に小千谷で農業体験や田舎暮らしをする、二地域居住というやり方があります！

Q 小千谷 クラインガルテン 検索



クラインガルテンのラウベ（ロフトのついた宿泊施設）は年度単位で借りられ、二地域居住にぴったりです。

住宅取得補助金

定住人口の増加と地域経済の活性化のため、市内で住宅を取得される際の費用を補助しています。

Q 小千谷 住宅取得補助金 検索

雪国暮らし

息をのむ白銀の世界…だけではない雪国ならではの苦勞もあります。雪国おぢやの生活の中では避けて通れない、雪との付き合い方についてご紹介します。

【雪下ろしのいろは】

除雪の花形とも言える雪下ろしに関してちょっと深掘りします！

【自分で下ろす】

家屋の雪下ろしは自分でやることも多いです。スコップやスノーダンプを持ち、細心の注意を払って、いざ屋根の上へ！

【依頼する】

業者さんに有料でお願いすることもできます。高齢者の多い集落などでは住人の助け合いやボランティアで雪を下ろすこともあります。

【落雪式・融雪式の家に住む】

屋根が急こう配になっている「落雪式」や温めて解かす「融雪式」の家に住む手も。ただし落雪式の場合、落雪後の雪かきが必要です。



これがスノーダンプ。スコップよりもたくさんの雪を下ろせます

【雪国おぢやの当たり前】

1 1年の3分の1は冬

おぢやの雪の季節は長いです。例年11月下旬頃に初雪が降り、雪解けは4月上旬頃。一部の山間地域ではGWまで積雪があります。例年の最大積雪深は市街地でも1.5m、中山間地では3m以上にもなります。



2 初雪までに冬支度をする

一般的な冬支度をご紹介します…庭木用の【雪囲い】、家屋の窓ガラスを守る【落とし板】、【冬用タイヤへの交換】。また【灯油の手配】に関しては500ℓのタンクがある家も珍しくありません。除雪道具の整備も欠かせません。

3 お出かけはスニーカーで!?

市街地では消雪パイプ*のおかげで比較的路面も出ています。商店街にはアーケードがありスニーカーで出歩く人もちらほら。除雪車は概ね10cmの降雪で出勤するなど除雪対策は万全です。

*※道路に埋め込まれた消費用のスプリンクラー



4 冬は田んぼがイベント会場

冬の風物詩「おぢや風船一揆」の会場はなんと雪に覆われた田んぼの上！また、伝統織物が雪上に並ぶ「小千谷縮の雪ざらし」や小正月のおまつり「さいのかみ」も田んぼが舞台となります。他にも雪下ニンジンや雪室貯蔵される日本酒などおぢやの人は雪と親しみ、共に生きてきました。



LINE公式アカウント
できました!

移住に関する情報発信・
個別相談も受け付けています。
小さなことでも、
ぜひお気軽にご相談下さい!



ID: @904tipsn

お問い合わせ

小千谷市観光交流課

〒947-0028 小千谷市城内1-13-20

☎ 0258-83-3512

✉ chiiki@city.ojya.niigata.jp

発行 小千谷市観光交流課
2021年3月

制作 わぐわぐworks

デザイン・イラスト 谷 和

印刷・製本 株式会社グラフィック

